

2007年7月27日

東京ガス株式会社

2007年度第1四半期決算に関する主なQ&A

Q: 今期の第1四半期決算のポイントについて教えて欲しい。

A: 今期は家庭用を除く各用途においてガス販売量が増加したこと、および原料費調整制度による売上単価が上昇したことなどにより対前期に比べ増収となりました。一方、原材料費や退職給付引当金償却費の増加、税制改正による減価償却費の増加などにより、前期に比べて四半期純利益ベースで-65億円(-21.9%)の減益となりました。

Q: 今回、通期の利益予想を下方修正したが、当初計画に対して減益となる理由は何か？

A: ガス販売量は計画以上に伸びることを見込んでおり、売上高は当初計画に対して350億円増える見通しですが、直近の原油価格高騰を反映して、原油価格の通期の見通しを従来の55ドル/bblから66.15ドル/bblに変更したため、都市ガスの主原料であるLNG価格の上昇などにより、原材料費が増加し収支を圧迫する見通しです。さらなる経費の削減などで収支の悪化を極力食い止める努力をするものの、当初計画に比べ当期純利益は-50億円(-6.8%)の減益となる見通しです。

以上